

資料

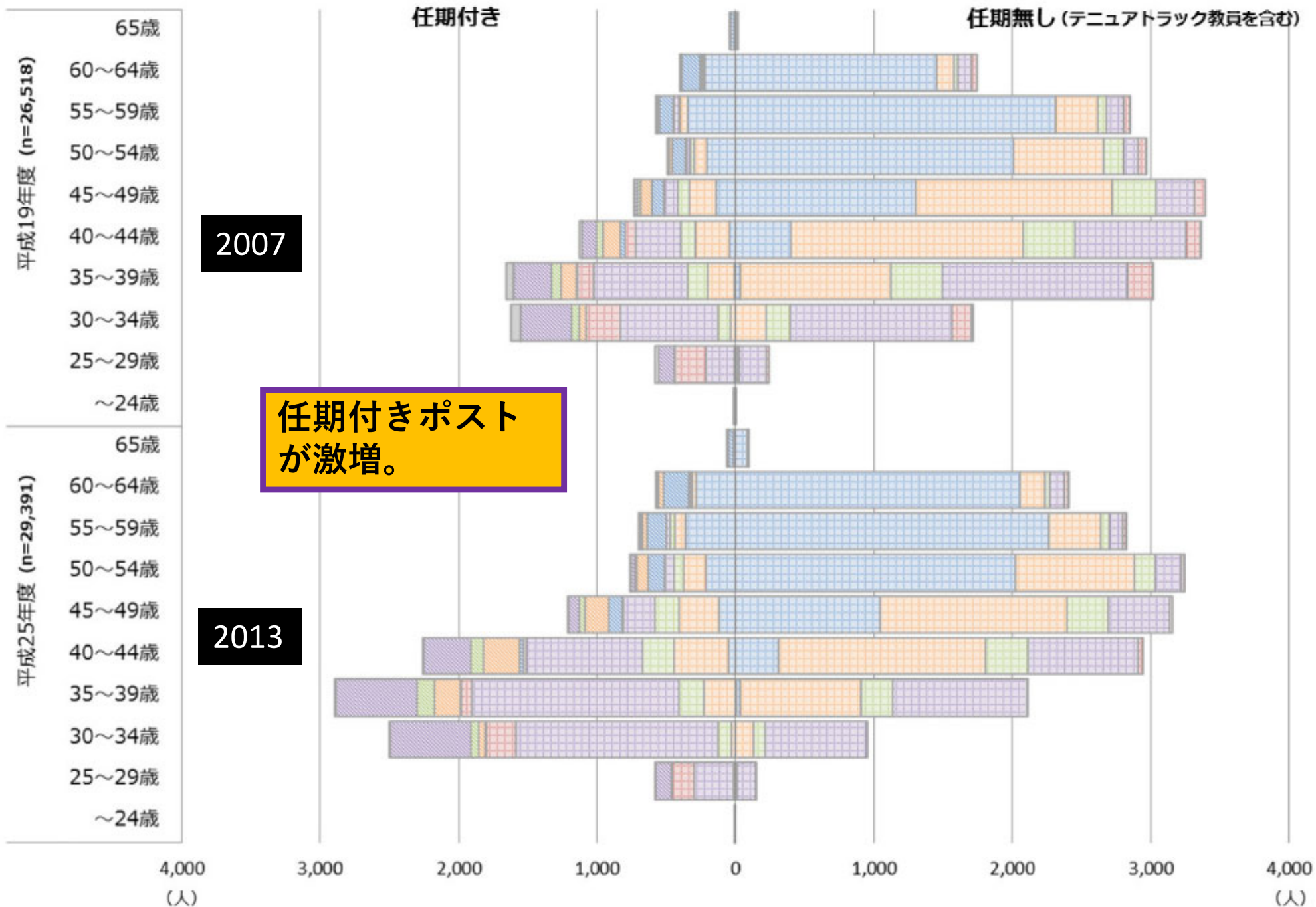
➤ 『大学教員の雇用状況に関する調査』

- 2015年9月、科学技術・学術政策研究所
- 学術研究懇談会（RU11）を構成する大学（北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、早稲田大学、慶応義塾大学）

➤ 『研究大学における教員の雇用状況に関する調査』

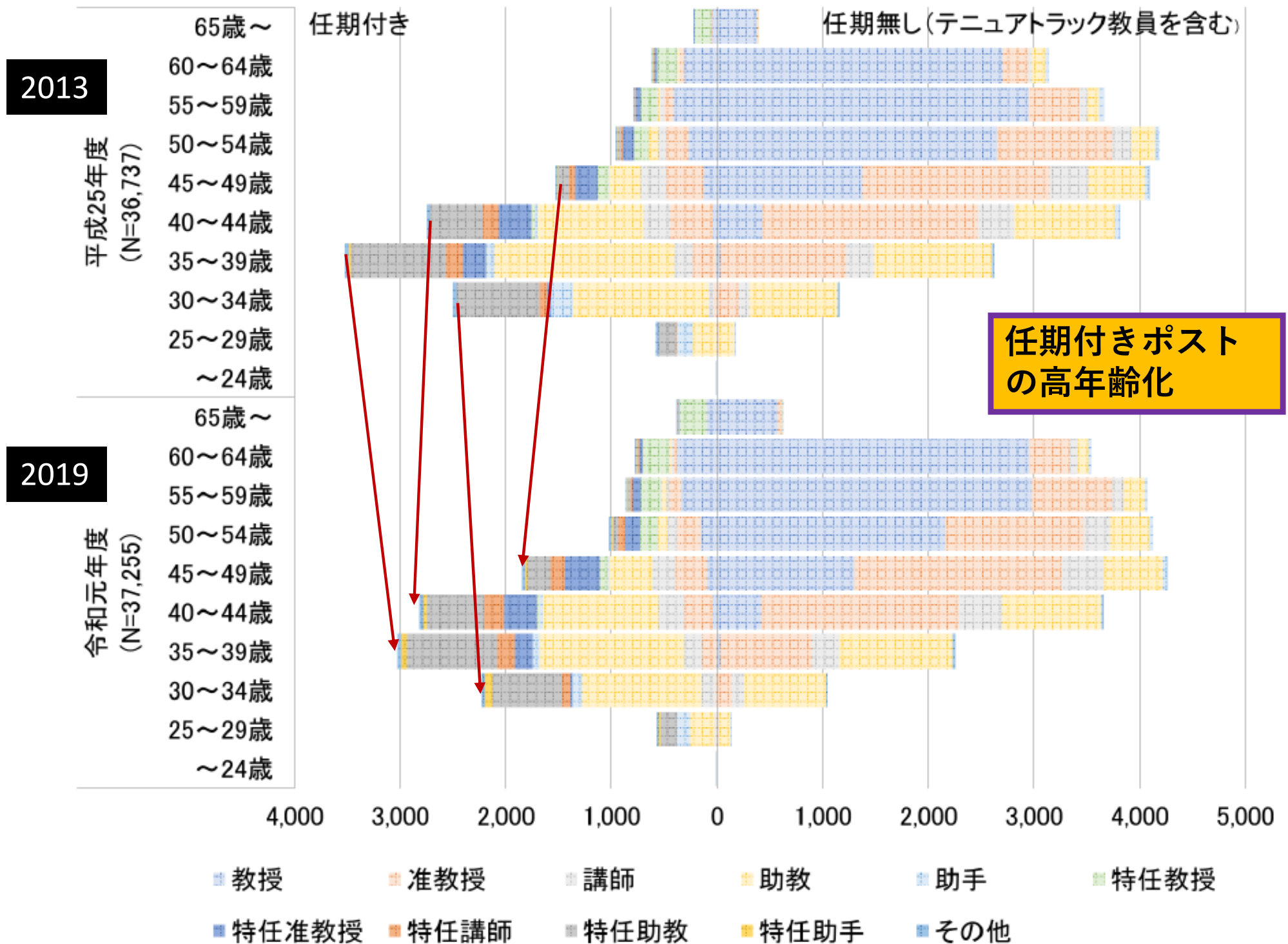
- 2021年3月

上記に加えて国立大学法人運営費交付金の重点支援③1にあたる大学（北海道大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、東京農工大学、東京工業大学、一橋大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、九州大学）



※平成25年度のnには不明者4人を含む

図 8 18 大学の教員における任期の有無と年齢階層別職位構成(1)



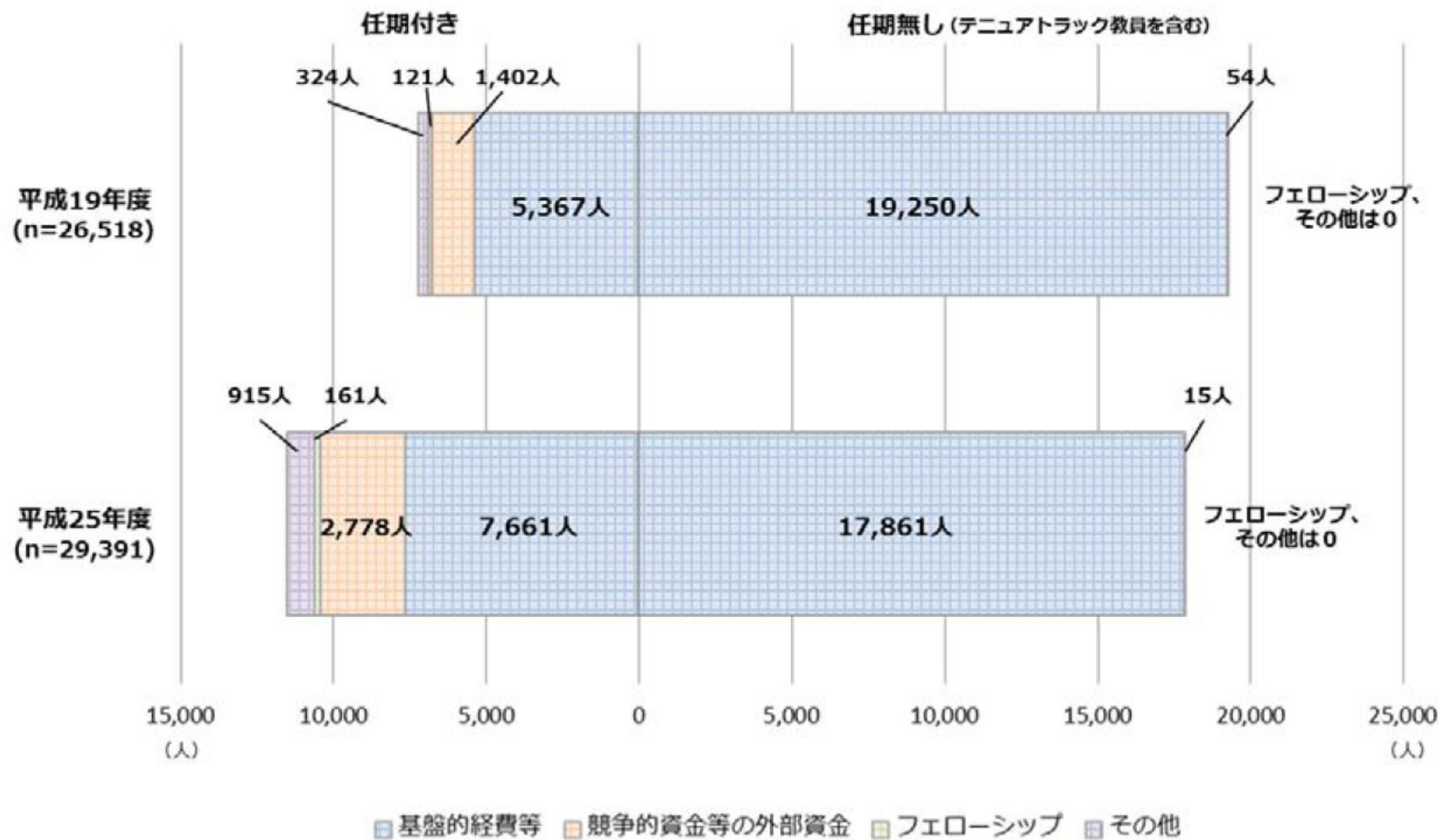
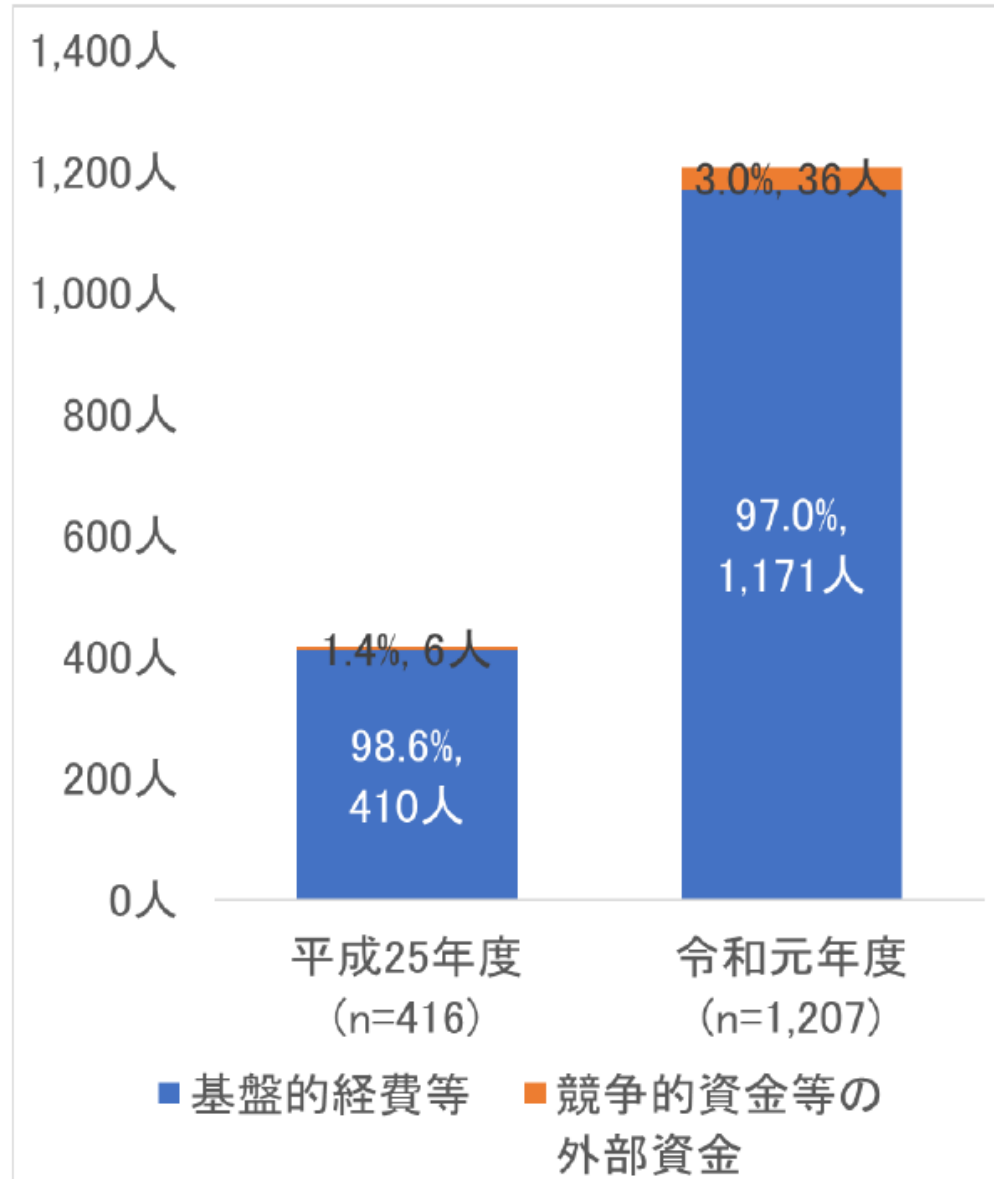


図 C RU11 の教員における任期の有無と雇用財源

図 23 18 大学におけるテニュアトラック教員の雇用財源

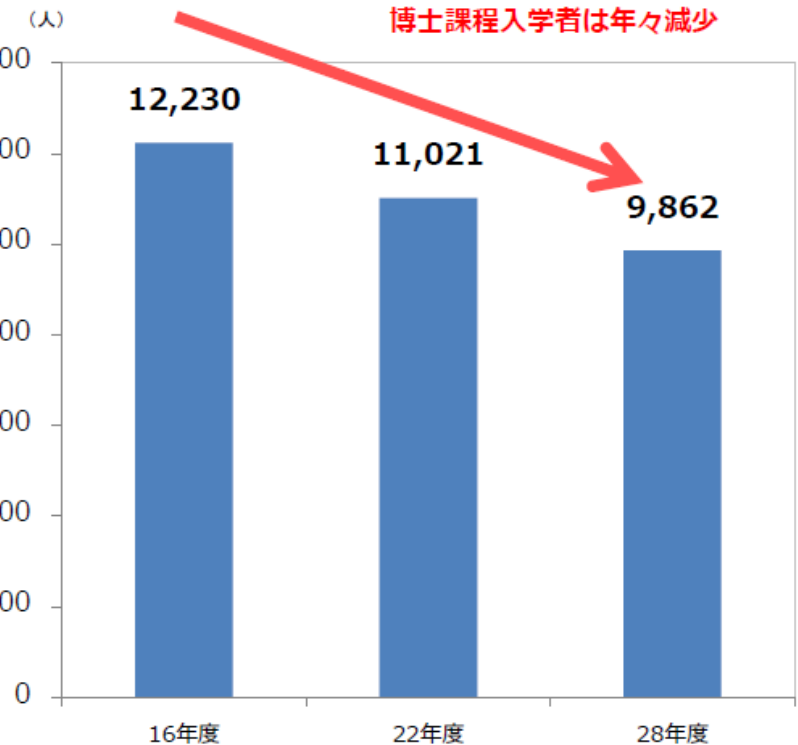
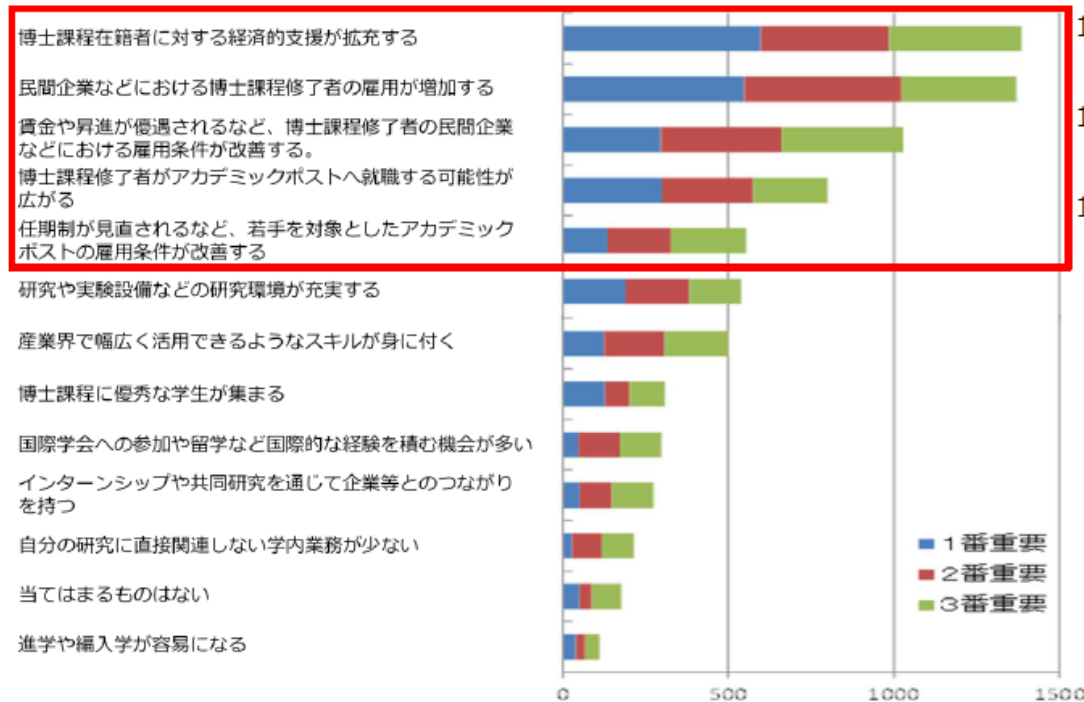


国立大学法人運営費交付金の減による教職員の雇用の不安定化③

博士号取得後のキャリアパスの不安定さ不透明さ、進学のための経済的な負担が博士離れに

● 博士進学を検討する際、進学を考えるための重要な条件

● 博士課程入学者数の推移



出典：「日本の理工系修士学生の進路決定に関する意識調査」（平成21年3月、科学技術政策研究所）

出典：「学校基本調査」（平成28年度(速報)）